

平成 29 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

町内会概要			
組織名	松川地域安心・安全ネットワーク委員会（松川地域石合町内会）	代 表	会長 丹治 豊三
地域（市町村）	県北（福島市）	加入世帯数 （人数）	376 世帯（1,102 人）
<p>(1) 自治会の主な活動 役員会、清掃作業、夏祭り、秋季祭礼、防災訓練、認知症高齢者模擬訓練、秋季祭礼、どんと焼き他</p> <p>(2) 自治会の特徴 福島市の南東部にあり、福島市街地の南部に位置する。町内東部には JR 東北本線が通り、松川駅が置かれ駅近辺に工業団地が存在する。町内を西から東へ水原川が流れており、その周辺に水田・畑が開けているため、そもそもは農業世帯が多い地区であった。工業団地の発展と共にそこに従事する勤労者が多く住むようになった。現在ではそれらの人々が定年退職を迎えた後、高齢者世帯も多くなり、町内会の運営に携わるようになってきている。松川町の中でも大きい地区である「石合地区」が松川町全体のモデルとなるべく、民生委員・老人会・婦人会・青年会など関係する団体が連携をしながら町内会活動を進められるよう役員のあり方なども改革を行い、事務局運営を固めた上で各事業を行うこととしている。</p> <p>(3) 今年度実施事業 石合高齢者支え合いコミュニティ支援事業</p> <p>(4) 事業の主な活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近隣の学童クラブと連携し、高齢者と児童との世代間交流の機会づくり 2. 認知症や福祉、健康などについての学習会の開催 3. 軽運動などの健康（介護予防）教室の開催 4. 周知・啓発等に関わる広報誌等の作成 5. 松川町の仮設住宅に住む避難者との交流機会づくり <p>(5) 本活動を実施することの背景 地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう、見守り・支援体制を構築する活動の一環として、地区民生委員やそのたの住民の方々より懸念する声が上がってきたことから本事業に繋がった。</p> <p><同じ松川町民として></p> <p>1月 28 日、飯舘村から松川町に住む避難されている方々との交流会が行われた。婦人の会の皆さん手作りのお餅や豚汁などが振舞われ、終始和やかな雰囲気であった。今回が初めての開催であったが、想定していたよりも参加人数が少なかったのが少し残念です、と石合北町内会長の鈴木さんは話されていた。ただ、これが交流の第一歩であり、同じ地域に住む者同士で今後も末永く仲睦まじく協力し合っていきたいという思いがあると話されていた。</p>			

活 動 内 容

①（前列左から）北：町内会長の鈴木吉光さん、南：町内会長の丹治豊三さん、石合高砂会（老人会）会長の高橋邦雄さん、婦人の回会長の広瀬真弓さん。



③交流会の余興では、婦人の会の皆さんが七福神に扮し、場を大いに楽しませていた。



②交流会が始まる前に、婦人の会の皆さんと参加者が一緒になって、餅を丸める作業を行った。



【取材内容】